

平成30年 6月 1日  
四国地方整備局

## 平成30年度「手づくり郷土賞」の募集開始について

## 今後の日程（予定）

募集開始	（平成30年 6月 1日）
募集締め切り	（平成30年 8月20日）
選定委員会による選定	（平成30年10月～平成30年11月）
結果の公表	（平成30年11月～平成30年12月）
発表会（交流会）	（平成30年12月～平成31年 1月）
認定証授与式	（平成31年 1月～）

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設し、今年度で33回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

同賞は、地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

つきましては、平成30年度の「手づくり郷土賞」の募集を本日から開始しますので、お知らせします。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No. 3美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」の取組に関連します。

## &lt;同時発表&gt;

- ・国土交通本省
- ・北海道開発局
- ・各地方整備局
- ・沖縄総合事務局

## &lt;問い合わせ先&gt;

四国地方整備局 企画部 広域計画課

課長 福田 浩  
課長補佐 木下 功

電話 087-811-8309（広域計画課直通）

FAX 087-811-8408

## 募集の概要

### ○募集対象

地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりのある優れた地域活動を一体的に表彰する「手づくり郷土賞（一般部門）」及び、これまでに受賞したもののうち一層の発展のあったものを表彰する「手づくり郷土賞（大賞部門）」の2部門にて実施。

なお、選定された成果については応募団体に認定証を授与するとともに、好事例としてホームページなどを通じて広く全国に紹介する予定。

### ○応募団体

社会資本を有効活用し地域づくり等に取り組む活動団体が単体、または社会資本を管理する地方公共団体（都道府県、市区町村）との共同で応募。

### ○応募方法

応募資料（応募用紙、参考資料）を、募集期間内に四国地方整備局に提出。

### ○選定について

応募案件は四国地方整備局でとりまとめの上、学識者等からなる「手づくり郷土賞」選定委員会の厳正な審査を経て、選定。

### ○発表会について

受賞団体決定後、東京都内において受賞団体によるプレゼンテーションなど活動の発表会（交流会）を開催予定。発表会では受賞団体のなかから各部門のグランプリを選出します。

#### 【別添資料】

○平成30年度「手づくり郷土賞」募集リーフレット ……(別添1)

○平成30年度「手づくり郷土賞」応募要領 ……(別添2)

※応募に必要な書類等の様式については、国土交通省ホームページに掲載しています。

( [http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/te dukuri/what\\_furusato/what\\_furusato.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/te dukuri/what_furusato/what_furusato.html) )

○平成29年度「手づくり郷土賞」受賞案件（四国関係） ……(別添3)

<大賞部門>

・万代中央ふ頭（音楽が紡ぐ港の魅力発信）（徳島県徳島市）

<一般部門>

・重信川河口域の湿地環境保全 ～高校生の取り組み～（愛媛県松山市・松前町）

国土交通省大臣表彰



別添1

平成30年度(第33回)

# 「手づくり郷土賞」募集

磨いて  
光った  
ふるさと  
郷土自慢



募集期間：平成30年6月1日～8月20日

※掲載写真は平成29年度受賞団体の一例です。

主催：国土交通省

# 「手づくり郷土賞」とは

日本の各地で、地域特有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として見直し積極的に活用した、魅力ある地域づくりの事例が数多く生まれてきています。

「手づくり郷土賞」は、このような地域活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、平成30年度で33回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

## 募集対象

### 一般部門

地域の魅力や個性を生み出している、社会資本\*及びそれと関わりのある地域活動が一体となった成果

\*原則として国土交通省が所管する社会資本で、地方公共団体が整備・管理するものも含まれます。

### 大賞部門

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した、社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果

※「手づくり郷土賞」を受賞した後、なお一層の活動の充実が行われるなど、継続的に魅力ある地域の実現に寄与し、他の地域のモデルとなり得るものを選定して表彰します。

## 応募方法

### ■応募団体（各部門共通）

地域の社会資本を有効活用し、地域づくり等に取り組む活動団体が単体で、または社会資本を管理する地方公共団体（都道府県、市区町村）と共同で応募するものとします。

### ■応募資料

応募用紙及び参考資料とその電子データ

※応募要領及び応募用紙については、国土交通省ホームページよりダウンロードしてください。

([http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/what\\_furusato/what\\_furusato.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/what_furusato/what_furusato.html))

### ■応募方法

応募資料を、募集期間内にお近くの各地方整備局等に提出してください。

提出された応募資料は各地方整備局等にて取りまとめの後、国土交通本省に提出されます。「手づくり郷土賞」の対象とならないものがあつた場合は、各地方整備局等よりその旨通知いたします。

### ■発表会について

受賞団体決定後、東京都内において受賞団体によるプレゼンテーションなど活動の発表会（交流会）を予定しております。発表会では受賞団体のなかから各部門のグランプリを選出します。

平成30年6月1日

平成30年8月20日

平成30年10月～11月

平成30年11月～

平成31年1月～

募集開始

募集締切

選定委員会開催

選定結果発表・  
発表会

認定証  
授与式

## 問い合わせ先

### ○各地方整備局等（応募資料提出先）

北海道開発局 開発監理部 開発調整課

TEL：011-709-2311

札幌市北区北八条西2丁目

東北地方整備局 企画部 企画課

TEL：022-225-2171

仙台市青葉区本町3-3-1

関東地方整備局 企画部 広域計画課

TEL：048-600-1330

さいたま市中央区新都心2-1

北陸地方整備局 企画部 広域計画課

TEL：025-370-6687

新潟市中央区美咲町1-1-1

中部地方整備局 企画部 企画課

TEL：052-953-8127

名古屋市中区三の丸2-5-1

近畿地方整備局 企画部 企画課

TEL：06-6942-1141

大阪市中央区大手前1-5-44

中国地方整備局 企画部 広域計画課

TEL：082-511-6120

広島市中区上八丁堀6-30

四国地方整備局 企画部 広域計画課

TEL：087-811-8309

高松市サンポート3-33

九州地方整備局 企画部 企画課

TEL：092-471-6331

福岡市博多区博多駅東2-10-7

沖縄総合事務局 開発建設部 建設行政課

TEL：098-866-1908

那覇市おもろまち2-1-1

### ○事務局

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 TEL：03-5253-8111 東京都千代田区霞が関2-1-3

昨年度発表会の様子



国土交通省の手づくり郷土賞ホームページにて、過去の受賞事例等をご覧いただけます。

(<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>)

手づくり郷土賞

で

検索

# 平成30年度「手づくり郷土賞」応募要領

国土交通省

## 1. 「手づくり郷土賞」とは

日本の各地で、地域特有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として見直し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりの事例が数多く生まれてきています。

「手づくり郷土賞」は、このような地域活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で个性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。

「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、平成30年度で33回目の開催となる国土交通大臣表彰です。

## 2. 応募について

### 1) 応募者の資格

地域の社会資本\*を有効活用し、地域づくり等に取り組む活動団体が単体で、または社会資本を管理する地方公共団体（都道府県、市区町村）と共同で応募するものとします。なお、社会資本を管理する地方公共団体については、複数での応募が可能です。

\* 原則として国土交通省が所管する社会資本で、地方公共団体等が整備・管理するものも含まれます。

### 2) 表彰部門

手づくり郷土賞は、以下の2部門について、募集を行います。

#### ①手づくり郷土賞（一般部門）

地域の魅力や個性を生み出している、社会資本およびそれと関わりのある地域活動が一体となった成果（以下、単に「成果」という）を対象とします。

#### ②手づくり郷土賞（大賞部門）

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した、社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果を対象とします。

さらに、受賞団体の中から、2. 6) 記載の発表会にて各部門のグランプリを選出します。

### 3) 募集期間

平成30年6月1日（金）～8月20日（月） ※消印有効

#### 4) 応募方法（提出物・提出先）

応募用紙記載要領に記載のある応募資料（応募用紙及び参考資料）を、3) 募集期間内にお近くの各地方整備局等（「5. 問い合わせ先」参照）に提出してください。

応募用紙については、国土交通省ホームページ上に掲載してあります。ダウンロードして、ご活用ください。

URL : [http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/te dukuri/what\\_furusato/what\\_furusato.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/te dukuri/what_furusato/what_furusato.html)

#### 5) 応募対象外となるもの

次の事項に該当する場合には、手づくり郷土賞の応募対象外となりますので、ご注意ください。

- ① 社会資本の整備、維持管理、利活用等と関わりが認められない活動
- ② 行政機関の主導のみで推進され、地域活動としての自立性が乏しい活動
- ③ 活動期間が概ね3年未満の活動（※活動期間は、組織の立ち上げや会議開催等ではなく、成果に直結する実質的な活動開始時点からカウント）
- ④ 地域社会、地域住民への貢献が認められない活動
- ⑤ 今回の応募内容で、全国規模で行われている同様趣旨の他の表彰を、過去に受けているもの（内容の発展が認められれば可）

#### 6) 発表会（交流会）

受賞団体決定後、東京都内において、受賞団体によるプレゼンテーションなど活動の発表会（交流会）を下記のスケジュールで予定しております。発表会では受賞団体のなかから各部門のグランプリを選出します。会場までの交通費等は1団体につき2名様分までご用意する予定です。詳細につきましては、改めて受賞団体へお知らせいたします。

#### 7) 今後のスケジュール（予定）

募集開始 (平成30年 6月 1日)

募集締め切り (平成30年 8月20日)

※応募資料は、各地方整備局等および国土交通本省にて、応募要件のチェックを行います。

応募の対象とならないものがあつた場合、その旨を応募団体へ通知いたします。

選定委員会による選定 (平成30年10月～11月)

選定結果の公表 (平成30年11月～12月)

発表会（交流会） (平成30年12月～平成31年 1月)

認定証授与式 (平成31年 1月～)

### **3. 選定について**

#### 1) 選定方法

一般部門及び大賞部門は、応募資料をもとに、学識者等からなる「手づくり郷土賞」選定委員会による厳正な審査をした上、選定します。各部門のグランプリは、発表会での活動当事者によるプレゼンテーション等を踏まえて選出します。

## 2) 選定対象

次の要件を満たすものが「手づくり郷土賞」として選定されます。

### 【手づくり郷土賞（一般部門）】

次の①及び②の要件を満たし、他の地域のモデルとなり得るものを選定して表彰します。

- ① 社会資本について、地域の自然的・社会的条件等を踏まえた創意・工夫のもと、整備（特に地域活動を誘発している整備）・維持管理・利活用等されていること。

（例えば、評価するイメージは以下のとおり。

- ・里の原風景を残し、環境学習・景観学習が出来るような整備がされている。
- ・点在する自然・歴史・文化空間をネットワーク化した、回遊ルートが形成されている。
- ・地域の歴史文化を継承する場として、街並みが保全・利活用されている。
- ・世代間の交流を促進するよう、使い勝手を考慮した工夫が凝らされている。
- ・社会資本自身が地域資源として定着し利活用されている。
- ・地域のシンボルとなる施設や歴史・文化・特産物などを核とした賑わい創出が地域活動により図られている。 など)

- ② 地域活動について、社会資本を有効活用し、地域の魅力の向上のための創意・工夫が行われており、公益性を有すること。

（例えば、評価するイメージは以下のとおり。

- ・コミュニティの育成、交流空間を創造している。
- ・郷土愛の醸成、環境や景観の次世代への継承を目指している。
- ・身近な社会基盤を見つめ直し、活かし、豊かな暮らしにつなげている。
- ・地域づくりの起爆剤になっている。住民と行政の連携を促している。
- ・計画的な事業実施のための資金獲得の工夫が行われ、住民が主体となって関係者を巻き込んだ活動となっている。 など)

### 【手づくり郷土賞（大賞部門）】

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞した、社会資本又は社会資本と関わりのある活動を含む成果のうち、「手づくり郷土賞」を受賞した後、なお一層の活動の充実が行われるなど、継続的に魅力ある地域の実現に寄与し、他の地域のモデルとなり得るものを選定して表彰します。

（例えば、評価するイメージは以下のとおり。

- ・地域づくりの成功事例の継続的な展開・進展により、新たな好事例を生んでいる。
- ・地域資源の地道な継承活動や新たな試みの付加により、地域の魅力が観光資源として認められ定着している。
- ・整備をきっかけに生まれた住民の交流が、住民主体によるまちづくりの気運を高め、行政協働のまちづくりに発展している。
- ・地域づくり活動が新たな産業を創出するなど地域振興に寄与している。 など)

### 3) 選定のポイント

審査を行う上での選定のポイントは以下のとおりです。

- ① 社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫  
(地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成 等)
- ② 地域活動における創意・工夫、取組の独創性  
(新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組 等)
- ③ 地域づくりへの成果及び波及効果  
(地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果 等)
- ④ 今後の活動の継続性・発展性  
(住民が長く活動が続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫 等)
- ⑤ 他の参考となるような先進性・先導性
- ⑥ その他(上記以外の特に優れた内容)

上記に加え、大賞部門においては以下のポイントも重視します。

- ⑦ 社会資本の地域への定着状況  
(地域のシンボルとして広く認識されている、多くの地域住民が日常的に利用している 等)
- ⑧ 活動の継続状況  
(規模を広げながら着実に継続している 等)
- ⑨ 活動の発展状況  
(新たな取組を創出している、他地域へ波及している 等)

### 4) 選定結果の公表等

選定結果の公表は、平成30年11月頃を予定しており、国土交通省及び各地方整備局等のホームページ等で公表します。なお、選定された成果に対しては、各地方整備局等を通じて認定証の授与を応募団体に対して行う予定です。

また、選定された成果は、好事例としてホームページなどを通じて広く全国に紹介する予定です。

## **4. その他応募にあたっての留意事項**

○応募資料提出後、担当窓口等から内容について問い合わせを行う場合がございます。

○応募資料は原則返却いたしません。返却が必要な資料については、その旨明記下さい。

○添付する写真について

- ・写真は評価の上で非常に重要な判断材料となります。応募資料に写真を添付される場合には、写真貼付箇所に強調したい点のコメントを載せて下さい。その際、「手づくり郷土賞」の趣旨に鑑み、なるべく無人の写真ではなく社会資本の利活用状況や工夫が分かる写真を添付して下さい。
- ・写真の内容については、第三者の肖像権、プライバシー等を侵害することのないよう十分

ご注意ください。また、選定された場合は、受賞団体の公表時や、冊子、ホームページ等の受賞団体紹介等で使用する場合があります。事前にご了承願います。

## 5. 問い合わせ先（担当窓口）

（事務局）

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課事業調整第二係  
〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL：03-5253-8111

（各地方整備局等 ※応募資料提出先）

北海道開発局 開発監理部 開発調整課  
〒060-8511 札幌市北区北八条西 2 丁目 TEL：011-709-2311

東北地方整備局 企画部 企画課 地方計画係  
〒980-8602 仙台市青葉区本町 3-3-1 TEL：022-225-2171

関東地方整備局 企画部 広域計画課 地方計画第二係  
〒330-9724 さいたま市中央区新都心 2-1 TEL：048-600-1330

北陸地方整備局 企画部 広域計画課 幹線道路調査係  
〒950-8801 新潟市中央区美咲町 1-1-1 TEL：025-370-6687

中部地方整備局 企画部 企画課 企画第二係  
〒460-8514 名古屋市中区三の丸 2-5-1 TEL：052-953-8127

近畿地方整備局 企画部 企画課 施策分析評価係  
〒540-8586 大阪市中央区大手前 1-5-4 4 TEL：06-6942-1141

中国地方整備局 企画部 広域計画課 企画第二係  
〒730-8530 広島市中区上八丁堀 6-3 0 TEL：082-511-6120

四国地方整備局 企画部 広域計画課 地方計画係  
〒760-8554 高松市サンポート 3-3 3 TEL：087-811-8309

九州地方整備局 企画部 企画課 事業調整係  
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-1 0-7 TEL：092-471-6331

沖縄総合事務局 開発建設部 建設行政課 不発弾等情報係  
〒900-0006 那覇市おもろまち 2-1-1 TEL：098-866-1908

以上

# 万代中央ふ頭（音楽が紡ぐ港の魅力発信）

徳島県 徳島市

特定非営利活動法人アクア・チッタ / 徳島県

## 1 社会資本の概要

万代中央ふ頭は、徳島市中心部に近く新町川下流の優れた水辺空間に位置し、東西約500メートルにわたる大規模な倉庫群が立地しています。

約50年ほど前には港湾物流の中心としてにぎわっていましたが、水深が浅く、大型化する船舶を受入れられなくなり、かつての活気を感じさせる倉庫群だけが取り残されていました。



養殖に優れた水辺空間を有する万代中央ふ頭

## 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

徳島市中心部の近くにもかかわらず、人気も少なく近寄りたがたい雰囲気となっていました。この地域を、水辺の魅力を活かし、ここに人が集い、交流が生まれる「港にぎわい空間」に再生したいとの思いから、新しい水辺のまちづくりへの取組を開始しました。

最初は、何をすればよいかわかりませんでした。が、人気の少ないさびれたところだったので、まずは清掃活動からスタートしました。そして市民の関心を喚起し認知度を向上させるため、水辺を活かしたイベントや水産市「アクア・チッタフェスタ」を開催するとともに、地元有志たちで構成された万代中央ふ頭にぎわいづくり協議会の「万代中央ふ頭に

ぎわいづくり構想」の策定にも参画しました。その後、規制緩和により倉庫を活用したイベントが開催できるようになり、倉庫全体を使った展覧会やまちづくり作品を集めたハンドメイドマーケットなど様々なイベントを行い、「新しい水辺のまち」として多くの方々に認知されるようになっていきます。

活動では、メンバーが持つ専門的知識を活かしながら、イベントチラシやSNS デザインの作成、効果的な広報などにより、多くの人々の注目を集めるように努めています。

また、若い世代のメンバーによる青年部も発足し、幅広い世代による活動を行っています。



活動当初から継続して行っている清掃活動



年に1度の大イベント「アクア・チッタフェスタ」



「万代中央ふ頭にぎわいづくり構想」策定のワーキングショップ

## 3 活動の成果や波及効果等

活動当初は、港湾区域の規制により倉庫を物流用途以外には使用できませんでしたが、地道な取組を続けた結果、徳島県による既存倉庫群の利活用を図る実証実験を経て、倉庫を店舗やオフィスなどに利用できるよう規制が緩和されました。

現在では、多くの倉庫が様々な用途に転換され、人氣のなかつた空間が「港にぎわい空間」へ変わってきています。

## 4 前回受賞時からの活動の発展内容

年に一度のお祭り「アクア・チッタフェスタ」では、今や名物となった、ライブ音楽と打ち上げ花火を同梱した「音楽花火」も実施するようになり、平成26年度からは開催日数も増やしています。「音楽花火」は、ライブ演奏をFM放送局から県内一円に放送し、フェスタ会場の万代中央ふ頭だけでなく、広範囲で多くの方々が楽しむことができるようになってきました。

平成28年度には、万代中央ふ頭のイメージジング「ミズイロ」を制作しました。現在は、「ミズイロ」を携えて、全国のみならず、全国の音楽で遊ぶPR活動を続けています。アクアチッタフェスタの各物（音楽花火）イメージジング「ミズイロ」に乗せて



## 喜びの声



### 受賞者

特定非営利活動法人アクア・チッタ  
事務局長 岡部 斗夢

### コメント

受賞の喜びをメンバーと共に分かち合っています。「手づくり郷土賞2017」会場での、みなさんの熱い思いに触れた中でいただいた「ランプリ」の名に恥じないよう、更に頑張って、メンバーみんなで、これからも楽しく活動の場を広げていきたいと思っています。

### 活動内容

- ・清掃活動
- ・「アクア・チッタフェスタ」の開催
- ・倉庫を活用した各種イベント
- ・イメージジングによるPR活動 など

### 活動の経緯

- 平成17年 NPO法人設立
- 平成23年 徳島県による「港にぎわい空間創出実証実験」開始
- 第二倉庫 アクア・チッタ開設
- 平成25年 倉庫業以外への規制緩和開始
- 平成28年 イメージジング「ミズイロ」制作



所在地  
徳島県 徳島市 万代町  
活動主体及び連絡先  
特定非営利活動法人アクア・チッタ  
(088-679-8001)  
HP: <http://aquacitta.com/>  
対象となる社会資本  
徳島小松島港万代中央地区（万代中央ふ頭）  
※管理者：徳島県

# 重信川河口域の湿地環境保全 ～高校生の取り組み～

## 愛媛県 松山市・松前町 愛媛県立伊予農業高等学校 伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム

### 1 社会資本の概要

重信川河口域は、環境省より「シギ・チドリ類の重要渡来地域」[日本の重要湿地 500]に選定されるなど、四国最大の都市松山市近郊における優れた環境を有する地区です。

しかしながら、近年、ヨシ原や干潟の減少など環境悪化が進んできたことから、学識者、NPO等、行政、大学生、高校生などで河口ワーキング部会を設立し、ヨシ原再生に関する意見のとりまとめ、住

民参画方法やモニタリング計画等について討議を重ねました。整備中も近隣の小学生や地域住民等が参加してヨシの植栽を行い完成しました。

完成後、定期的な河川清掃作業等を行い、現在は近隣小学生の環境学習の場として活用されることも、バードウォatchingの絶好の場として、多くの愛好家が訪れています。



重信川河口域 干潟・湿地全景



環境保全活動で野鳥の楽園となっている重信川河口域

### 2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

「貴重な干潟・湿地を守りたい」、「地域の誇れるシンボルを残したい」という思いから活動を始め、干潟・湿地の保全・再生に当たっては、初期の段階から学識者、NPO等、行政、大学生とともに、ヨシ原再生事業のワークショップに高校生自らが参画し、計画づくりに携わるとともに、ヨシの移植作業にも参加しました。

ヨシ原再生事業の着手後、D-GPSを用いた河口



河口ヨシ原再生ワークショップへの参加



ヨシの移植作業に参加



小学生の環境学習（カニの観察会）

### 3 活動の成果や波及効果等

平成23年3月に河口ヨシ原再生事業が完成した後、継続的に環境調査・保全活動を行っています。その成果として、ヨシ原再生の目標種の1つであるオオヨシキリの営巣も平成26年に確認されました。また、ヨシ原再生箇所において、愛媛県内で絶滅危惧種とされていた陸貝「オカミミガイ」の生息も確認できました。これらの活動の成果は地元紙にも取り上げられ、環境保全に関する意識高揚にも繋がっており、次世代の人材育成も広がっています。



「オカミミガイ」の追跡調査



GPSによるヨシの植生分布調査



重信川ウォーラムでの発表

定期的な清掃活動

小学生の環境学習（鳥類観察）

### 喜びの声



**受賞者**  
愛媛県立伊予農業高等学校  
伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム  
顧問 玉井修二

**コメント**  
この度は栄誉ある賞をいただきメンバー共々、一層活動に力が入っています。  
重信川河口湿地には豊かな生態系があり、環境教育の学習の場として最適です。  
今後も20年、30年と続くよう地道に活動を続けていきます。

**活動内容**  
湿原の保全・再生、調査活動、清掃活動、環境学習・教育の場づくり など

**活動の経緯**  
平成16年 会の設立。  
干潟・湿原の保全・再生活動開始  
平成20年 河口ワーキングに参画  
平成23年 河口ヨシ原調査開始



**所在地**  
愛媛県松山市、伊予郡松前町  
**活動主体及び連絡先**  
愛媛県立伊予農業高等学校  
伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム  
連絡先 (089-982-1225 顧問 玉井修二)  
**対象となる社会資本**  
重信川河口域  
※管理者：国土交通省 松山河川国道事務所